

## アンケート結果を受けて改善したいところ 【人文社会系】

問2の項目で④、⑤の項目のポイントがやや高めであるように思うので、もっと調べ学習的な方法をとる必要があるかもしれない。

今回のアンケートで特徴的な点を挙げるとすれば、授業自体には満足していても、それを「自分で問題点を深く考えた」とか「さらにその思考に基づき行動した」となると、「③ どちらともいえない」「④ あまりそう思わない」の数値が増えるという点である。つまり、学生は自分からさらに学びを展開するということはしていないということである。授業外の学びについても、今後意識的に働きかけていきたい。

ゲストを呼ぶにあたって、事前に何らかの活動を取り入れたいと思いました。ゲストの授業が独立してしまわないように工夫したいです。

前期の授業で、週当たりの学習時間の少なさが大きな課題でしたが、後期は、その点を改善して、毎回の授業の予習や復習のための課題シートを作成して、提出を求めたところ、1人を除き、全員の学習時間が増加した点はよかったです。ただ、提出された課題シートを見ると、課題に対する取組に差が見られるため、受講生が取り組みやすい課題の設定の仕方と徐々に難易度をあげていく課題の内容について吟味したいです。教員と受講生とのコミュニケーションについては、77.5%の受講生は、肯定的な回答をしています。20%の受講生は、どちらともいえないという回答をしています。そこで、課題に対するフィードバックを丁寧に行うことで、よりよいコミュニケーションを図っていきたくと考えています。

「問13 この授業のための週当たりの学習時間」を増やせたらと思う。主体的な取り組みを重視する上で。

教員とのコミュニケーションが上手くとれていたかという評価が、やや低かった。授業のまとめ時に学生の感想を授業日記に書いてもらい、それを次時の導入時で取り上げているが、まだ一方通行の感じがするのであろう。前時の授業の成果と課題として考えを共有できるように、もう少し丁寧に扱うように心がけていきたい。

・授業の内容が、十分に、学生の生きる力になっていない。その場限りのもので終わっている。個々に課題意識を持ち、主体的に解決していこうとするレベルまで高めなければ、思考の深まりも発展性も生まれない。今回のデータを基に、指導方法を工夫していきたい。

毎回ではないが、1回の授業の中で、講義をする時間が長すぎるという指摘を受けた。従来は、授業内で講義後に、学生が学んだことを確認するために課題を与えて提出する方法をとっていたが、課題を家庭学習とし、授業では学生同士で課題について意見交換する時間を、もう少し採り入れたいと思う。

自分自身、1回の授業のために、さまざまな反省をまじえて6時間程度かけて準備しております。学生からの評価は甘んじて受け入れますが、手を抜かない授業者でありたいです。

・「教員とのコミュニケーションはうまく取れる。」の項目で、12人という少人数であるにもかかわらず、コミュニケーションをもっと取りたい旨が読み取れた。グループ討議の際には、さらに助言する場面を多くしたい。

(M2)

設問に対し、「どちらともいえない」や「全くそうは思わない」などの回答も数名あったので、再度見直し授業構成の工夫すべき点を考えたい

(S2) 専門科目ではない学生への授業であったにもかかわらず、比較的高評価ではあったが、自ら興味をもって調べるというところまではいたらなかったので、もう少し授業内容を再考したい。

47名中16名が1年の時に受講していました。彼らがすぐに直接申し出てくれれば 導入部も違う形で授業しましたが、まさかそういうことがあると思っていませんでしたので、導入部は同じ授業内容でした。もちろんメインの内容は違うものでした。授業の問題を直接担当に申し出ることをしないということはルール破りだと思いますので、とても残念です。

90分の授業の中で、通常の授業内容に加えて、授業に関係する内容のスライドを用いることが多く、内容的に盛り沢山になる傾向があったので、今後は、さらに教材の精選に努めたい。

・問3の「授業を受けての調査・新たな思考・行動」という項目が一層身に付くような授業のあり方を研究し、授業改善に努めていきたい。  
・学生さんの主体的な参加を願って、班での討議や全体での発表・討論を授業に組み込んでいるが、話し合うことの意義や討論の仕方、コメントの力などを練り上げるように努力していきたい。  
・中間レポートや講義感想など、学生さんが自ら学んだことを振り返り書き綴ることを重視して位置づけているが、さらに書くことの意味づけや書き方などの工夫をしていきたい。

・高等学校の内容を多くしてほしいという要望が書かれていたが、授業では合計5回程実施している。歴史分野が多くなってしまったので、今後考えていきたい。

学生の人数的が多いため(70人余)、マイクを使用し、進み具合を考慮しながら授業をおこなっていますが、理解の徹底を図るために、使用するプリントや板書の内容について今後も検討していきたいと思います。

本学において初めての経験であったが、おおよそ目標を達成したように思う。

PowerPointの提示の仕方は、もう少し分かりやすいように改善していく方がいいかと思ひますし、活動内容も、受講者中心の内容のものをもっと増やす方向で考えています。

後期の学生たちには、授業内容→その内容に応じた出身学区の調査、考察を内容ごとに期限を設け、進めていったので、「身になった」という感触があり、それが評価に現れたかと思う。ただし、そのような流れにもすり抜けてしまう学生が若干いて、出身学区のレポートにおいて、最終提出時に困ったようだった。提出物には、コメントを付けて返しているが、そこで提出していない学生が、すり抜けてしまいがちなので、授業時間を割いても、細かな指導を進めていく。